

道老施協第57号
平成30年6月15日

老人福祉施設長
各 デイサービスセンター施設長 様
老人保健施設長

北海道老人福祉施設協議会
会 長 瀬 戸 雅 嗣

平成30年度全国老施協北海道ブロック研究大会
平成30年度全道老人福祉施設研究大会
第38回老人福祉施設研究発表会の開催について（案内）

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、標記大会を別紙のとおり開催することとなりました。

つきましては、貴職をはじめ関係職員の御参加につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

【第1日目 7月25日（水）】

- (1) 開 会 (13:00～13:15)
- (2) 全国老施協勤続15年感謝状授与式 (13:15～13:30)
- (3) 基調報告 (13:30～14:30)
報 告：公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長 木村 哲之 氏
- (4) 記念講演 (14:45～16:45)
講 師：医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長 佐々木 淳 氏
テーマ：「自立支援から看取りまで」
- (5) 臨時総会 (17:00～17:45)
- (6) 情報交換会 (17:45～19:15)

【第2日目 7月26日（木）】

- (1) 発表者説明会 (9:00～9:30)
- (2) 開 会 (9:35～9:40)
- (3) 分科会発表① (9:40～12:00)
- (4) 分科会発表② (13:00～14:20)
- (5) 過年度優秀賞発表 (14:30～14:50)
- (6) 表彰式 (15:00～15:20)
- (7) 閉 会 (15:20～15:30)

※ 第1分科会のみスケジュールが異なります。詳しくは別添開催案内裏面のタイムスケジュールでご確認ください

【事務局連絡先】

北海道社会福祉協議会
施設経営支援部 施設福祉課内
(担当：戸嶋・三島)
TEL：011-241-3766（直）
011-241-3976（代）
FAX：011-280-3162

全道老人福祉施設研究大会

第38回全道老人福祉施設研究発表会

平成30年 7月25日(水)・26日(木)

記念講演 (7/25 14:45～16:45)

「自立支援から看取りまで」

佐々木 淳 氏 (医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長)

東京にある在宅医療専門クリニック「医療法人社団悠翔会」では、理想とする在宅医療の実現を目指して活動しています。在宅医療の現状や課題について話をお聞きます。



基調報告 (7/25 13:30～14:30)

木村 哲之 氏 (公益社団法人全国老人福祉施設協議会副会長)

研究発表 (7/26 9:00～16:00)

※分科会によって終了時間が異なります。

介護の専門職としての「成功事例」「失敗事例」「アイディア」を発表して、皆で共有し、ケアの質向上につなげていきましょう！！

今回は、4分科会で開催します。詳しくはタイムスケジュールをご覧ください。

会場 札幌プリンスホテル 札幌市中央区南2条西11丁目(国際館パミール)



近年、宿泊施設の手配が非常に困難になっております。宿泊の手配は出来るだけお早目に！

時間

25日(報告・講演)13時00分～16時45分(受付開始12時00分)
26日(研究発表) 9時30分～16時00分

参加費

会 員：5,000 円、非会員：10,000 円 ※参加費は、当日、受付にてお支払いください。
(情報交換会 会費 6,000 円)

※この事業は、北海道のキャリアパス支援研修事業補助金を受けて実施しています。

●主 催：北海道老人福祉施設協議会 ●連絡先：事務局【担当：戸嶋】 ☎：011-241-3766

2日目(7月26日) <研究発表分科会タイムスケジュール>

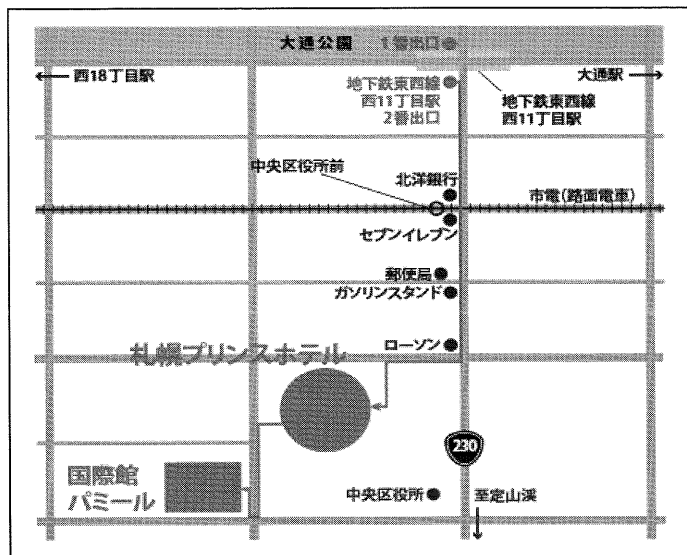
発表テーマの上段は、7つの項目で分類しています。						
①個別ケア	②リスクマネジメント	③ケアの向上の取組	④人材育成	⑤地域	⑥看取り介護	⑦デイサービス

(敬称略)

分科会	第1分科会		第2分科会		第3分科会		第4分科会	
会場	6階 美瑛		6階 十勝		3階 支笏・風蓮		3階 摩周・屈斜路	
1	9:40 ～ 10:00	①個別ケア 『穏やかな生活を取り戻せ!!』 特別養護老人ホーム かおる園 介護職員 辻 拓哉	③ケアの向上の取組 『リロケーションダメージによるBPSD への関わり～BPSD出現には原因があっ た!～』 特別養護老人ホーム ひだまり大麻 入所課長 斉藤 直美		④人材育成 『「介護職が本来やるべきことをするた め」をきっかけに～特定求職者雇用と元 気高齢者とWin & Win & Win～』 特別養護老人ホーム 西野ケアセンター サービス課長 石井 和枝		⑦デイサービス 『ディサービスでの個別機能訓練、運動 器機能訓練の取り組みと課題』 慈啓会特別養護老人ホーム 理学療法士 菅原 寿	
休 憩(10分)								
2	10:10 ～ 10:30	①個別ケア 『はじめは奥様との些細な会話から ～Kさんの可能性～』 特別養護老人ホーム 西野ケアセンター 介護職員 桑原 絵美	②リスクマネジメント 『津波被害と施設移転』 特別養護老人ホーム 様似ソビラ荘 生活相談員 佐々木 弘和		⑤地域 『認知症カフェによって生まれた地域と の繋がり』 デイサービスセンター かがやき 生活相談員 佐々木 雅章		⑦デイサービス 『チャレンジ! デイサービス発の地域づ くり』 デイホーム かたる 管理者 吉田 匡貴	
休 憩(10分)								
3	10:40 ～ 11:00	③ケアの向上の取組 『多職種で作る栄養ケアチームの取り組 み～行事を通して食べることを支える ～』 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園 管理栄養士 村上 由佳	①個別ケア 『本人の願い、私たちの願い』 特別養護老人ホーム かおる園 介護職員 大路 将也		④人材育成 『3K(“感謝”“感動”“カッコイイ”) 伝えます!! ～未来の介護士人材発掘 ～』 特別養護老人ホーム 南幌みどり苑 主任生活相談員 山崎 博司		①個別ケア 『孫への愛情(おもい)が『できる!』に変 わる～結婚式出席までの取り組み～』 函館共愛会 愛泉寮 介護副主任 澤田 翼 ユニットリーダー 能登 愛	
休 憩(10分)								
4	11:10 ～ 11:30	①個別ケア 『介護の力で笑顔のある生活を～言語障 害のある入居者との関わりにより得たも の～』 地域密着型特別養護老人ホーム 温原の里 介護福祉士 豊高 美味	③ケアの向上の取組 『介助量を数値化する意味とは?～移乗2 名介助から歩く練習できるまでになった 事例A氏を通して～』 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園 作業療法士 中尾 亮介		①個別ケア 『「我が家でくらす」を支えるために～ 多職種・多種サービス・ご家族様と連携 する個別ケア～』 ケアハウスハープガーデン新十津川 生活相談員 久保田 絵麻		①個別ケア 『その方の思いに寄り添ったケアとは』 特別養護老人ホーム えさし荘 介護福祉士 竹内 まみ	
休 憩(10分)								
5	11:40 ～ 12:00	①個別ケア 『自立とは・・・ ～100年の歩みを大切 に私達ができること～』 特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑 ケアスタッフ 和泉 千春 ケアスタッフ 牧野 美子	③ケアの向上の取組 『笑顔になれる美味しいごはん作り』 特別養護老人ホーム 太陽園 調理員 佐藤 紀子		⑤地域 『自分の家で、そしてこのまちで暮らし 続けたい～地域における予防教室の役割 ～』 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園 生活相談員 細川 紗菜恵		⑦デイサービス 『稼働率が向上した理由～答えは意外な ところに～』 デイサービス ホワイエ 管理者 横山 直史	
休 憩 (6 0 分)								
6	13:00 ～ 13:20	④人材育成 『担い手不足の解消・地域との繋がりを 強化～広報誌を活用した取り組みの一例 ～』 特別養護老人ホーム 五天山園 主任生活相談員 神田 沙耶歌	③ケアの向上の取組 『～オムツからトイレへ!～(実践で職員 の考え方が変化した!)] 小清水町特別養護老人ホーム 愛寿園 介護福祉士 山崎 美穂子		⑤地域 『地域で暮らし続けるために～地域ケア 会議を通して～』 鷹栖町介護センター さつき苑 介護支援専門員 坂林 美幸		①個別ケア 『家に帰ろう! 本人の気持ちと家族の思 いを叶える為に』 小規模多機能ホーム ぬくもりの家 えん 介護職員 山内 美里 小規模管理者・主任 能登 純子	
休 憩(10分)								
7	13:30 ～ 13:50	①個別ケア 『みんな人生の主人公～自分史を作ろう ～』 江別養護老人ホーム 恵明園 生活相談員 山本 亜美	③ケアの向上の取組 『嚥下食の舞台裏。ムース食の作り 方。』 特別養護老人ホーム 上土幌すずらん荘 管理栄養士 渡辺 瑞世		⑤地域 『地域貢献を通して今後の施設の在り方 を考える』 特別養護老人ホーム 敬生園 生活相談員 砂金 昌明		⑥看取り介護 『「最期はここで」最期の場所として利 用者や家族に選ばれる施設を目指して』 特別養護老人ホーム 釧路町釧望やすらぎの郷 生活支援係長 小田嶋 梨恵	
休 憩(10分)								
8	14:00 ～ 14:20	①個別ケア 『亡き息子の意思を継いで…』 ホスピスケア ふわり 介護スタッフ 谷脇 杏奈	③ケアの向上の取組 『においを嗅いで認知症改善』 介護老人保健施設クリアコート千歳 精神科認定看護師 如澤 学		④人材育成 『～私たちが地域にできること～ケアの 標準化を目指して』 特別養護老人ホーム 清光園 介護主任 下村 一歩		⑥看取り介護 『最期を支えて、介護職のスキルアップ と介護職の魅力を手にして』 住宅型有料老人ホーム しらゆり サービス提供責任者 久保 香織 澤崎 優子	
休 憩(10分)								
9	14:30 ～ 14:50	①個別ケア 『排泄リハビリにより戻ってきた本当の 笑顔～当たり前にある排泄が出来る喜び ～』 特別養護老人ホーム ひかりの 介護職員 本間 未来	過年度優秀賞発表 『汚名返上!! ～介護職員から始める個 別排泄コントロール～』 特別養護老人ホーム かおる園 介護職員 辻 拓哉		過年度優秀賞発表 『在宅サービスに前向きでなかったA氏 が、えがお健康体操教室にくる理由』 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園 機能訓練指導員 中尾 亮介		過年度優秀賞発表 『最期まで特養で看取るということ～苑 内葬儀という選択肢～』 特別養護老人ホーム コスモス苑 生活相談員 新井 元規	
休 憩(10分)								
10	15:00 ～ 15:20	過年度優秀賞発表 『ディサービスに必要な生活行為向上リ ハビリテーション』 鷹栖町ディサービスセンターはびねす 理学療法士 大矢 敏之	第2分科会表彰式及び閉会		第3分科会表彰式及び閉会		第4分科会表彰式及び閉会	
休 憩(10分)								
11	15:30 ～ 16:00	第1分科会表彰式及び閉会						

◆ 会場周辺図 ◆

※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください※



☆札幌プリンスホテル 国際館パミール☆

札幌市中央区南 2 条西 11 丁目

TEL011-241-1111

< J R > JR札幌駅下車→タクシー約8分

< 地下鉄 > 東西線西 11 丁目下車→徒歩約 3 分

◆ 参加申し込み ◆

下記参加申込書に必要事項をご記入の上、平成30年7月13日（金）までに FAX してください。

~~~~~参加申込書~~~~~

北海道老人福祉施設協議会 事務局 宛（FAX：011-280-3162 添付書不要・切り取らずこのまま送信ください）

| 施設名  | 施設種別      |         | 特養・養護・軽費・ケアハウス<br>デイ・老健・その他（ ） |                         | 道老施協・道デイ<br>会員当否を✓↓<br><input type="checkbox"/> 会員<br><input type="checkbox"/> 非会員 |
|------|-----------|---------|--------------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設住所 | 〒         | TEL     | 担当者名                           |                         |                                                                                    |
|      |           | FAX     |                                |                         |                                                                                    |
| No   | 氏名        | 職種・経験年数 | 情報交換会                          | 備考                      |                                                                                    |
| 1    | フリガナ      | ( 年 )   | する                             | 発表者の方は、下に✓印を！<br>(□発表者) |                                                                                    |
|      | 参加<br>しない |         | ※実際に発表する方のみです。                 |                         |                                                                                    |
| 2    | フリガナ      | ( 年 )   | する                             | 発表者の方は、下に✓印を！<br>(□発表者) |                                                                                    |
|      | 参加<br>しない |         | ※実際に発表する方のみです。                 |                         |                                                                                    |
| 3    | フリガナ      | ( 年 )   | する                             | 発表者の方は、下に✓印を！<br>(□発表者) |                                                                                    |
|      | 参加<br>しない |         | ※実際に発表する方のみです。                 |                         |                                                                                    |
| 4    | フリガナ      | ( 年 )   | する                             | 発表者の方は、下に✓印を！<br>(□発表者) |                                                                                    |
|      | 参加<br>しない |         | ※実際に発表する方のみです。                 |                         |                                                                                    |

◎経験年数は老人福祉施設等での経験年数をご記入ください。

◎発表者の方は備考欄にチェック願います。

◎ご記入いただいた個人情報は当該研究発表会の運営及び統計資料の作成に使用いたします。参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿を作成し、当日参加者に配布いたします。上記以外の目的で本人の了承なく個人情報を第三者に開示することはありません。

申込・お問合せ先 北海道社会福祉協議会 老施協担当：戸嶋、三島

TEL 011-241-3766 FAX 011-280-3162

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 1 番地 かでる 2.7 3 階